

大規模災害時廃棄物対策北海道ブロック協議会 道南エリア分科会

日時：令和5年10月11日（水）10:00～12:00

場所：函館市勤労者総合福祉センター 中会議室

（オンライン併用（ZOOM））

【エリア分科会の代表振興局、代表市町村】選出結果

代表振興局：渡島総合振興局

代表市町村：江差町

【災害廃棄物処理計画策定に係る課題】議事要旨

（1）策定済み自治体からの意見

函館市 かなり前に策定済み

- ・ ずいぶん前に策定したが、策定して終わりではなく、状況が変わる中で更新して良いものを作りたいと考えている。
- ・ 日本海溝千島海溝の地震による災害廃棄物の想定される量が莫大なのでなかなか想像つかないところである。

長万部町 策定済み

- ・ ワークシートを使用して作成した。
- ・ 公表されている被害想定に関する部分はすぐに作成できたが、水害に関しては総務課の防災部局と協働した。
- ・ 特に仮置場の候補地の選定について、防災部局に相談したが時間を要した。
- ・ 担当者が最も苦労したのは、各種の推計である。
算定シートを用いて推計したが、何度も見直し、都度計算した。
- ・ 町長へは作成段階から状況を説明していた。
- ・ 廃棄物と審議会への説明により成案化した。議会へは直接説明していない。

乙部町 策定済み

- ・ 道の支援事業に参加して今年度の5月に策定した。
- ・ 仮置場の選定に苦労した。
- ・ 議員への説明や仮置場候補地の所有者への説明をした。

今金町 策定済み

- ・ 北部檜山衛生処理組合を処理場として指定している。
- ・ 今日の分科会での説明を聞き、集積場等より具体的な制度構築を改めて見直しが必要と

感じた。

- ・今金町は海に面していないが、洪水時や震災時に対しての詳細について、計画の見直しを進めていきたい。

環境省

- ・仮置場は、各関係部署と打ち合わせて事前に候補地を決めておく。
- ・災害時に避難場所や仮設住宅になる可能性もあるので。
- ・暫定的に公有地で空いている場所を順に並べておいて、災害時に関係課と協議して選んでいく形でもやむを得ないので計画の策定を進めてほしい。
- ・手続きをすれば国有地も仮置場として使用可能であるため、自治体内の国有地を仮置場候補地としたい場合は相談してほしい。
- ・水害に対する被害想定簡易マニュアルも今年度作成することを検討している。次年度以降、検討に活用してほしい。

(2) 未策定自治体からの意見

福島町 未策定

- ・今回初めてこのような研修に参加した。
- ・どのように作成しようかと思い、参加したところである。

知内町 未策定

- ・素案の作成を開始した。
- ・冬の除雪、津波、洪水の時など、また、仮設住宅に使用されるときなど、仮置場に町有地が確保できないので民地も含めて検討していきたい。

環境省

- ・民地の仮置場としては、大学のグラウンドなどと事前に協定を結んで仮置場にする事例もある。
- ・また、産廃の最終処分場跡地のほか、パチンコ屋やショッピングセンターの駐車場も事前に相談して使用できるのであれば候補になると思う。

木古内町 未策定

- ・昨年度から参加した。
- ・作成しようと思っているが、人員不足で取り掛かれない。
- ・町内には平坦な土地が少なく、平地があってもヘリポートなど別の用途に使用されているため、土地の関係について検討しなければならないのが課題。

森町 未策定

- ・ 昨年の研修に参加し廃棄物発生量を算出したが、途中で日本海溝千島海溝の地震の想定が発表になった。この数値が全壊のみなので半壊などはどうしたらよいのか。
- ・ 今回資料と町の数値に差があることから、計画をどのようにするか悩んでいる。

環境省

- ・ 暫定値について全壊は北海道、半壊は北海道の危機対策課の委託先、床上・床下は昨年の委託先が計算して算定したもの。
- ・ 日本海溝千島海溝の想定について、全壊・半壊・床上・床下のデータが必要であれば提供する。
- ・ 2023年5月に環境省の廃棄物発生量の推計の計算式が更新され、計算結果が大幅に異なる。その結果、地震被害に対しては北海道では以前より大きく、水害に対しては全国的に小さく算出されるようになった。

厚沢部町（環境省の話）

- ・ マンパワー不足。
- ・ 災害を受ける想定ではなく苦慮している。

上ノ国町

- ・ 河川の氾濫に伴う洪水による災害廃棄物発生量の推計にいちばん苦慮しているので支援をお願いしたい。

環境省

- ・ 限りがあるが、数件の市町村を対象に、災害の推計と災害廃棄物処理計画の骨子案策定の支援を行う。

以上